

平成26年2月12日

関東東北産業保安監督部

「武甲山の石灰石採掘に関する有識者検討会」の検討結果について

関東東北産業保安監督部は、埼玉県秩父市及び横瀬町に位置する武甲山地区の石灰石採掘に関し、事業者の保安対策の実施状況及び今後の採掘に当たっての取組みについて、「武甲山の石灰石採掘に関する有識者検討会」（監督部長の私的検討会）を設置し、評価検討を行いました。

当部は、検討結果を踏まえ、引き続き採掘の進展に応じた対策の実施について監督指導を行います。

1. 経緯

埼玉県秩父市・横瀬町に位置する武甲山地区では、現在、菱光石灰工業(株)の宇根鉱山、武甲鉱業(株)の武甲鉱山及び秩父太平洋セメント(株)の三輪鉱山の鉱山三社により石灰石の採掘が行われ、採掘に伴い残壁が形成されていますが、鉱山三社では同地区での更なる採掘を計画しており、採掘の進展に伴って今後も残壁が形成されていきます。

このため、当部はこれまで鉱山三社が残壁の安定管理のため実施してきた保安対策の実施状況及び今後の採掘に当たっての取組みについて、学識経験者等の有識者から意見を伺い、今後の同地区における監督指導に活用することを目的として、部長の私的検討会として「武甲山の石灰石採掘に関する有識者検討会」を平成25年11月に設置し、これまで3回にわたり検討を行いました。

＜有識者検討会メンバー＞

国立大学法人	東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻	福井勝則教授
国立大学法人	埼玉大学地圏科学研究センター	長田昌彦准教授
独立行政法人	産業技術総合研究所地圏資源環境研究部門	
	地圏環境システム研究グループ	及川寧己主任研究員

2. 検討結果

鉱山三社による武甲山地区でのこれまでの保安対策の取組みは概ね妥当であるが、今後の採掘に当たっての留意点は以下のとおり。

- (1) 採掘に当たっては、引き続き、保安上適正な規格を遵守すること。
- (2) 採掘の進展や降雨等に伴う変化を監視するため、残壁のモニタリングを継続すること。
- (3) 残壁安定化対策については、確実な実施とその効果を確認すること。
- (4) 豪雨時等の状態の変化に即した態勢を構築すること。

当部としては、検討結果を踏まえて、引き続き同地区における採掘の進展に応じた対策の実施について監督指導を行います。

また、必要に応じて本有識者検討会において、保安対策と取組みの効果等について評価検討を行い、今後の監督指導に活用していきます。

(本資料のお問い合わせ先)

関東東北産業保安監督部 鉱山保安課長 奈良 英明

担当者：平田、佐々木

電 話：０４８－６００－０４３６